

江戸に学ぼう 「粋」な生き方

大江戸歴史散策研究会
瓜生和徳

大江戸八百八町は間違い！
大江戸は
一千六百七十八町！

- ◎江戸の町の総数は？
- ◎江戸はどこからどこまで？
- ◎江戸時代も実は高齢化社会だった！
- ◎武士は休みなく、死ぬまで働いていた！
- ◎武士は勝手に隠居できなかった！
- ◎庶民は隠居して、好きなことができた！
- ◎江戸時代は女子旅が盛んだった！

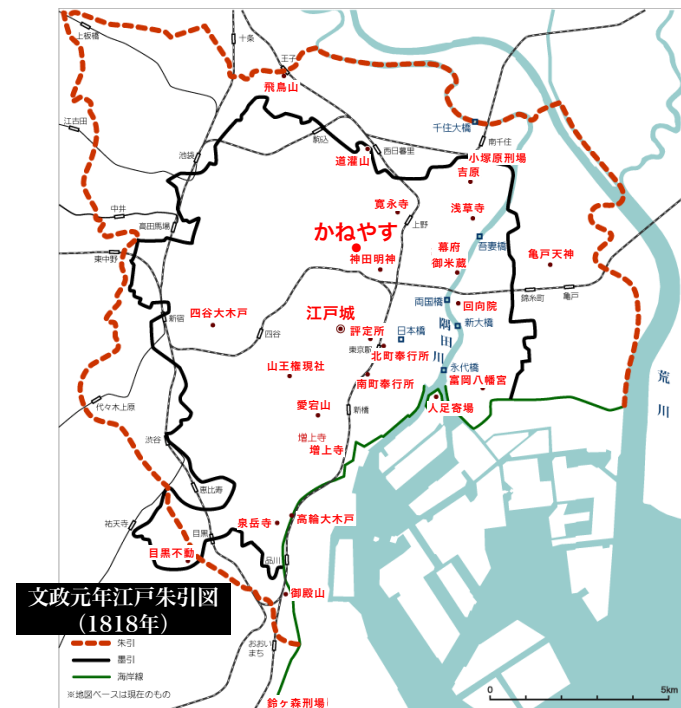
年代	事項	増加分	総町数
慶長～寛永年間 (1596～1644)	江戸城を中心として多数の町が新設。 これらは古町と呼ばれる。	約300町	約300町
明暦3年(1657) 大火以後	•新たな都市計画。京橋木挽町東の海洲部分、赤坂・小日向などの湿地の埋め立て。 •本所深川の開発。→江戸の発展の基礎となる。		
寛文2年(1662)	芝・三田・飯倉～下谷・浅草にいたる街道筋の代官支配地に建設された町屋を、町並地として町奉行支配に組み込む。	約300町	674町
延宝年間 (1673～1681)	•ほぼ江戸の原形ができあがる。北は千住から南は品川まで町屋が続く「大江戸」が出現。 •以前は二里四方といわれた江戸の町も、この時期には四里四方といわれるまでに拡大。		
正徳3年(1713)	本所・深川一帯、山の手の町屋を町並地に。	259町	933町
延享年間 (1744～1747)	町地の強制移転により「代地町」が増加。 居住町人の増加により、寺社門前町を町奉行支配に。	745町	1,678町

江戸幕府が開かれて
なんと**200**年後に
江戸の境界線が
決められたのです！



江戸朱引内図

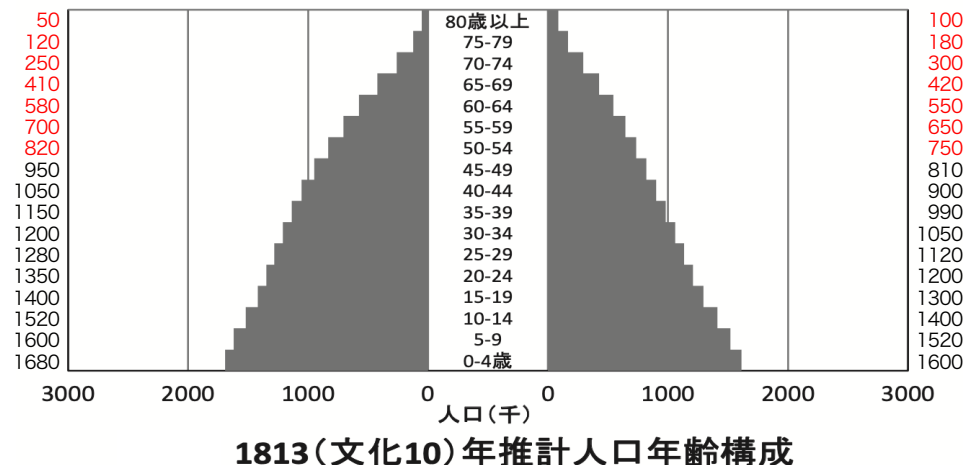
「かねやすまでは、江戸の内」
ということは
「かねやす」が江戸の境？



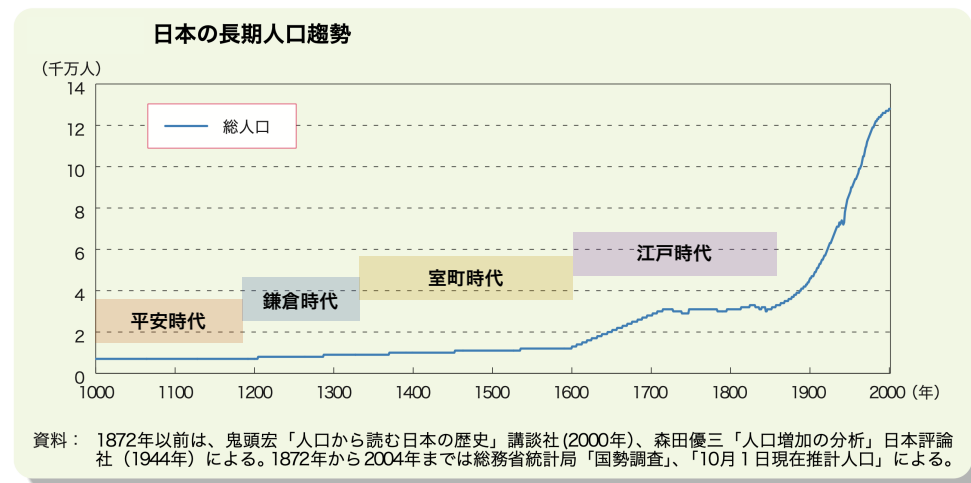
文政元年江戸朱引図
(1818年)

江戸時代の総人口は、
 およそ**3,000万人**
 50歳以上は、**19%**

＊現在、70歳以上が**23%**



	男	女	計
0～4歳	1,680,000	1,600,000	3,280,000
5～9歳	1,600,000	1,520,000	3,120,000
10～14歳	1,520,000	1,400,000	2,920,000
15～19歳	1,400,000	1,300,000	2,700,000
20～24歳	1,350,000	1,200,000	2,550,000
25～29歳	1,280,000	1,120,000	2,400,000
30～34歳	1,200,000	1,050,000	2,250,000
35～39歳	1,150,000	990,000	2,140,000
40～44歳	1,050,000	900,000	1,950,000
45～49歳	950,000	810,000	1,760,000
50～54歳	820,000	750,000	1,570,000
55～59歳	700,000	650,000	1,350,000
60～64歳	580,000	550,000	1,130,000
65～69歳	410,000	420,000	830,000
70～74歳	250,000	300,000	550,000
75～79歳	120,000	180,000	300,000
80歳以上	50,000	100,000	150,000
計	16,110,000	14,840,000	30,950,000



◎八代将軍徳川吉宗は、
死ぬまで働いた！

◎大岡忠相は、吉宗が亡くなるまで引退できなかった！

◎伊能忠敬は50歳で隠居し、
趣味で日本地図を作った！

◎田中丘隅は50歳で隠居し、
幕府に提言書を出した！

◎小田宅子は53歳で、
4人の女子旅で日本一周！

◎今野於以登、国分ふさなど
女子旅が盛んだった！

1年中休みなく死ぬまで
働き続けた
江戸時代の役人たち

【大岡越前守忠相日記より勤務状況】

	寺社奉行 61歳 (元文2年1737年)	寺社奉行 兼 奏者番 73歳 (寛延2年1749年)
式日 (月に3日)	36	27
立合 (月に3日)	33	31
内寄合 (月に3日)	34	34
詰番 (宿直)	74	30
江戸城本丸	241	195
江戸城西ノ丸	39	34
計	457	351
在宅	29 (病欠11)	48 (病欠37)

1	「将軍家宗教行事関係」 (山王、紅葉山、上野寛永寺、芝増上寺を含む)	70%
2	地方寺社	18%
3	周縁身分 (連歌師・楽人・検校・陰陽師・古筆見 (こひつみ) 及び、碁・将棋所の者)	5%
4	府内寺社	5%
5	その他	2%